

第37回 長沼レガッタ 開催要項

1. 趣 旨 平成2年全国高校総体(インターハイ)ボート競技開催を記念し、漕艇競技の底辺拡大を図るとともに、市民のだれもが気軽に参加して、交流を深めながら、水上スポーツに親しむことのできる市民レガッタを実施する。
また、全国市町村交流レガッタ大会の登米市代表選考会を兼ねる。
第31回東北中学校ボート大会、Tome肉祭2026との同日開催とする。
2. 主 催 登米市 登米市教育委員会 とめ漕艇協会
3. 主 管 長沼レガッタ実行委員会
4. 後 援 登米市体育協会 (株)アイエス総合
5. 協 力 登米市スポーツ推進委員会 登米市B&Gスポーツ協会
佐沼高校ボート部 佐沼中学校ボート部
佐沼高校ボート部親の会 佐沼中学校ボート部親の会
6. 期 日 令和8年6月28日(日) 【小雨決行】 ※荒天時は中止
午前7時30分～50分 受付 : 本部テント(判定塔西側)
午前8時～ 開会式 : 式典エリア(判定塔東側)
午前9時～ 競 漕
7. 会 場 宮城県登米市迫町北方字天形 114-2 アイエス総合ボートランド
(宮城県長沼ボート場)
8. 種 目 ①ナックルフォア (KF) - 男子成年の部 (漕手合計年齢 160 歳未満)
②ナックルフォア (KF) - 男子壮年の部 (漕手合計年齢 160 歳以上)
③ナックルフォア (KF) - 女子の部
④ナックルフォア (KF) - 混合の部 (漕手に女性 2 名以上)
⑤カヌー 小学生 - 男子の部
⑥カヌー 小学生 - 女子の部
⑦カヌー 中学生 - 男子の部
⑧カヌー 中学生 - 女子の部
⑨カヌー 一般 - 男子の部
⑩カヌー 一般 - 女子の部
【新設】→⑪ナックルフォア (KF) - オープンの部
9. 競漕距離 <種目番号①～④, ⑪ ナックルフォア (KF) > 500m
<種目番号⑤～⑩ カヌー> 200m
10. 競漕方法 (公社)日本ローイング協会競漕規則による。
ただし、クルー構成に関しては、開催要項記載の内容を採用する。
11. 表 彰 ナックルフォア…優勝には優勝旗とカップ、準優勝にはトロフィーを授与する。(男子壮年の部、オープンの方は優勝カップのみ)
カヌー部門は、優勝にはカップ、準優勝にはトロフィーを授与する。
- ※KF, カヌーとも3位まで賞状, 6位まで副賞を授与 ※参加者全員に参加賞を授与

12. 参加資格

<種目番号①～④ ナックルフォア (KF) >

- ・市内に居住または勤務する人で高校生以上とする。(漕手は現漕艇部員不可)
- ・経験者の参加は漕手と補欠選手をあわせて1名以内とする。

(経験者とは、高校、大学、社会人で日本ローイング協会に選手登録をした経験のある者をいう。ただし、全日本マスターズレガッタ出場における一時登録者及び60歳以上の者については経験者とみなさない。)

<種目番号⑪ ナックルフォア (KF) - オープンの部【新設】 >

- ・居住地を問わず、高校生以上とする。(漕手は現漕艇部員不可)
- ・経験者の複数人での参加を認める。

<種目番号⑤～⑧ カヌー >

- ・市内の小学校4年生から中学校3年生までとする。(現カヌー部員不可)

<種目番号⑨, ⑩ カヌー >

- ・市内に居住または勤務する人で高校生以上とする。(現カヌー部員不可)

13. クルー構成 ※ダブルエントリー (KFとカヌー) を認めるが、競漕日程は考慮しない

<種目番号①～④ ナックルフォア (KF) >

- ・コックス (舵手) 1名 (性別・経験問わず), 漕手4名の1クルー5名とする。
- ・男子成年の部は、漕手の合計年齢が160歳未満とする。大会当日の満年齢とする。
- ・男子壮年の部は、漕手の合計年齢が160歳以上とする。大会当日の満年齢とする。
- ・壮年の部に該当するクルーは、成年の部に参加することができる。
- ・種目番号①～④の参加資格を満たすクルーもオープン部の部に参加することができる。
- ・男子の部には、漕手に女性1名を含むことができる。
- ・混合の部は、漕手に女性2名以上3名以下を含むこと。
- ・補欠選手は、最大2名まで認める。補欠選手がシート (S, 3, 2, B) に入る場合は、発艇定刻1時間前までに、競漕委員会に交代届を出すこと。
- ・申込んだ登録選手に変更がある場合は、大会当日の受付時に登録変更届を出すこと。(登録変更できる人数は、2名までとする)

<種目番号⑤～⑩ カヌー > ・1人乗りとする

14. 参加料

(保険料含)

<種目番号①～④ ナックルフォア (KF) >

- ・1クルー (選手5名) 5,000円, 補欠1名につき+1,000円

<種目番号⑤～⑩ カヌー >

- ・小学生, 中学生…1人500円
- ・一般…1人1,000円

※大会時の傷害保険(死亡・後遺障害130万円, 入院1日1,500円, 通院1日1,000円)は、主管者側で掛ける。不足と思われるクルーは各自でも掛けること。練習時については各クルーの自己責任において対応すること。

※代表者会議
受付時に徴収

オープンの部は
大会時に徴収

15. 参加申込

参加申込書に記入し、5月16日(土)8時30分～50分(代表者会議受付時)に、登米市迫B&G海洋センターまで持参のこと。

オープンの部は、5月15日(金)17時までに、問合せ先の実行委員会事務局のEメールアドレスにメールにて出漕申込書をPDFまたはWordファイルで送信すること。

16. 事前練習
- ・ K F , カヌーの練習は、19. 問合せ先の実行委員会事務局のEメールに事前予約してからおこなうこと。 受付順で予約を受け付ける。
(予約方法については別紙を参照の上、申し込むこと)
 - ・ 定員を守って乗艇すること。小学3年生以下を乗艇させないこと。
 - ・ 各クルーは、練習の際、雑巾とバケツを持参し、練習後は、艇とオールを拭きあげてから帰ること。

[練習開放期間] 5月19日(火)～6月27日(土) ※各時間帯9クルーまで
【平日の火曜日と木曜日のみ】①14時～15時

【土日】①10時30分～11時30分, ②13時30分～14時30分, ③15時～16時

※県ボート場休館日にあわせ、月曜日の練習開放はなし

ボート場の利用状況により練習できない場合もあるので、予約時に確認すること

※練習前に、使用する艇やオールを確認してから練習をおこなうこと

※練習中に艇やオールを破損させた場合は、迫B&G海洋センター事務局に必ず報告すること (破損させたまま放置すると他のクルーに迷惑をかけることになります)

17. ナックルフォア (KF) 講習会 (入門編参加の事前申込は3日前までにメールにて問合せ先へ)

- ・ K F のクルーのうち3名以上がK F 講習会 (入門編) を受講してから練習すること。
過去にK F 講習会 (入門編) 受講証を取得しているクルーは免除する。
他のレガッタ大会に出場経験のあるオープンの部のクルーは免除する。
- ・ K F 参加予定クルー (オープンの部を除く) のうち1名以上は、5月16日 (土) 10:30～のK F 準備作業に参加すること。 参加者には、K F 講習会 (艀装編) の受講証を交付する。
 - 5月16日 (土) 10:30～ 艀装編 (K F 準備作業)
 - 5月17日 (日) 9:00～ 入門編 迫B&G海洋センター集合
 - 5月23日 (土) 13:00～ 入門編 迫B&G海洋センター集合

18. その他

- ①カヌー・スカルはゼッケンを1枚、ナックルフォアはゼッケンを2枚用意すること。
A4 (横) 程度の大きさにクルー名を記入すること。カヌーは、ライフジャケット (主管者側で用意) の背中につけること。ナックルフォアは、コックス (舵手) とバウ (先頭の漕手) の背中につけること。
- ②出漕の際は、配艇テントでバウナンバーの交付を受けること (レース後、返却)。
- ③レースを棄権する場合は、発艇時刻1時間前までに、競漕委員会に棄権届を出すこと。
- ④代表者会議を5月16日 (土) 午前9時～登米市迫B&G海洋センターにて開催するので、参加予定団体から1名以上参加すること。
- ⑤代表者会議に参加できないオープンの部の参加予定団体は、後日送付する代表者会議の資料内容を熟読の上、大会に参加すること。
- ⑥大会中に撮影された写真・ビデオ等の著作権、及び、選手・観客・その他関係者の肖像権等を使用する一切の権利は、主管者に属し、被写体の許可なく利用できるものとする。
- ⑥主管者の許可を得ない会场上空でのドローン等の飛行は禁止する。
- ⑦芝生広場にて、登米市のイベントとしてTome肉祭2026が同日開催される。

19. 問合せ先 長沼レガッタ実行委員会事務局 (とめ漕艇協会事務局内)
メールアドレス: tomesoutei@gmail.com